



まほろん通信

VOL. 47

(平成25年4月15日発行)
福島県文化財センター白河館
〒961-0835
福島県白河市白坂一里段 86
TEL 0248-21-0700 (代)
FAX 0248-21-1075
ホームページ



〈完成した文化財仮保管施設〉

震災復興とまほろん

平成25年度のまほろんは、「見て・触れて・考え・学ぶ」体験型フィールドミュージアムを目指して、様々な展示や体験活動を実施するとともに、震災復興に焦点を当てた事業を展開し、福島県の文化の復興の一助となるように、さらにまほろんから多くの皆様に「元気・勇気」を発信します。

まほろんでは、東日本大震災で被災し、原子力発電所事故の影響により警戒区域に指定された浜通り地方の双葉町・大熊町・富岡町の各資料館から救出された文化財を、敷地内に設置された仮保管施設に整理・収納し、文化財復興展「救出された双葉郡の文化財」として展示公開します。被災地の一刻も早い復興と救出された文化財が元の地域に帰れることを祈念し、広く県民の皆様に警戒区域の歴史や文化を紹介します。

文化財講演会・文化財研修では、これまで同様に文化財等に親しむ機会を広く提供するとともに、新たに、被災した多くの有形・無形の文化財の復旧・復興への取り組みについても紹介します。

体験学習やイベント等では、様々な体験活動メニューを企画・実施し、素晴らしい歴史を身近に感じていただくと共に、いっそう皆様に親しまれるように努めてまいります。

まほろん冬まつりの様子

平成 25 年 2 月 17 日（日）、「まほろん冬まつり」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、前年を上回る約 580 人の方々が来館し、冬のまほろんを満喫していただきました。

館内では、「昔の遊びに挑戦」、「本物の土器や石器にさわろう」などが行われました。「昔の遊びに挑戦」では、独楽まわし・お手玉・貝あわせ・福笑いなどの遊びにチャレンジ。大人の方も、童心に返っ



＜本物の土器や石器にさわってみよう＞

企画展示案内

文化財復興展

「救出された双葉郡の文化財Ⅰ」

会期：平成 25 年 3 月 7 日（木）～6 月 9 日（日）

会場：まほろん特別展示室（入場無料）

文化財復興展は、東日本大震災で被災し、原発事故の影響により警戒区域に取り残された浜通り地方の双葉町・大熊町・富岡町の各資料館から文化財レスキューによって救出された資料を展示・公開し、復興を祈念する企画です。

今回の展示では、双葉町・大熊町・富岡町の考古資料・民俗資料・古文書等の歴史資料を公開し、地域の歴史や文化を紹介しています。

双葉町は、国の指定史跡清戸迫横穴墓や奈良・平安時代の郡衙跡である郡山五番遺跡などの古代遺跡からの出土品や相馬地方を代表する伝統行事である相馬野馬追に参加する旧家が所蔵していた鞍や漆塗りの籠・漆塗りの工芸品を展示しています。

大熊町は、熊川上流に所在する縄文時代早期から晩期にかけての砂土



＜煙草盆（双葉町歴史民俗資料館所蔵）＞

て遊ぶ姿が見られました。また、「紙かぶと・缶バッジづくり」では、自分でつくった紙かぶとや缶バッジを、さっそく館内で身に付けて歩く光景も見られました。

「本物の土器や石器にさわろう」では、子ども達がい実際に遺跡から見つかった土器などに触れながら、積極的に学芸員に質問していました。

「昔のお菓子づくり体験」は、今回、綿菓子づくりを行いました。機械の中で、割りばしをクルクル回して、綿のような飴を巻き取っていく作業に、子ども達も真剣でした。

このほか、館内では「時代衣装を着てみよう」、「まほろんオリエンテーリング」なども行われ、終日賑わいました。

館外では、毎年恒例となった「まほろんもみぎりファイヤー」で、多くの家族連れが、棒 1 本で行うもみぎり式の火おこしに挑戦しました。成功した方には、「火おこし名人」の認定証とまほろんグッズをプレゼントしました。

なお、恒例となった福島県立図書館の移動図書館では、来館された方々に書籍の貸し出しを行い、多くの方にご利用いただきました。

期に栄えた熊川中流に所在する道平遺跡、小入野川流域に所在する縄文時代中期後半から後期の南沢遺跡からの出土品、江戸時代の陶器・版木・仏象、懐かしい昭和時代の生活用具を展示しています。

富岡町は、縄文時代晩期に栄えた集落の関根遺跡、弥生時代中期の毛萱遺跡、古墳時代中期の小浜古墳群、奈良・平安時代の小浜代遺跡から出土した考古資料を展示しま

す。また、江戸時代は当地方を支配した多古藩（現在の千葉県香取郡多古町）ゆかりの掛け軸や古文書、明治時代の布達集を展示しています。

文化財は地域の歴史とともに歩み・守り・伝えられてきた貴重な財産で、地域の人々の心の支えでもあります。今回の展示は地域の歴史を後世に伝える貴重な文化財を通して、警戒区域内の歴史などに思いを馳せていただければと思います。



＜仏像（大熊町民俗伝承館保管）＞



＜小浜代遺跡 軒丸瓦（富岡町歴史民俗資料館所蔵）＞

文化財研修・講演会のご案内

4～6月の文化財研修・講演会について

4～6月の文化財研修は、基礎講座研修2コースを予定しています。5月25日(土)は、考古学基礎講座Ⅰ「収蔵資料(縄文時代)」を実施します。まほろん収蔵の縄文時代資料を実見しながら、県内の縄文時代について理解を深めます。6月22日(土)は、文献資料と地方史研究「文献資料による中世城館研究」を外部講師を招いて行います。

以上が4～6月の文化財研修です。各文化財研修の詳細については、開催日の約1ヶ月前に、ホームページや館内備え付けのポスター・チラシ等でお知らせしますので、ご覧いただければ幸いです。事前

申し込みになりますが、みなさまの応募をお待ちしています。

また、今年度の館長講演会は、「北日本の縄文文化について」をシリーズとして、5回開催します。第1回目は5月19日(日)です。文化財講演会については、4月27日(土)に「被災文化財復興事業の取り組み」を、6月8日(土)に「小峰城の歴史と震災復興」を行います。

文化財講演会とまほろん館長講演会については、事前申し込みは不要です。開催時間・内容については、ホームページや館内備え付けのポスター・チラシ等でお知らせします。みなさまの参加をお待ちしています。

平成24年度の入館者数

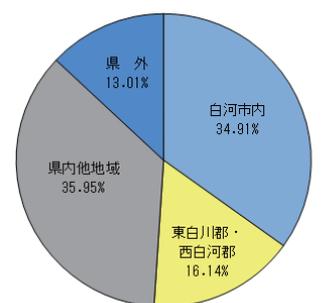
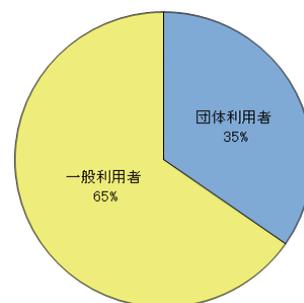
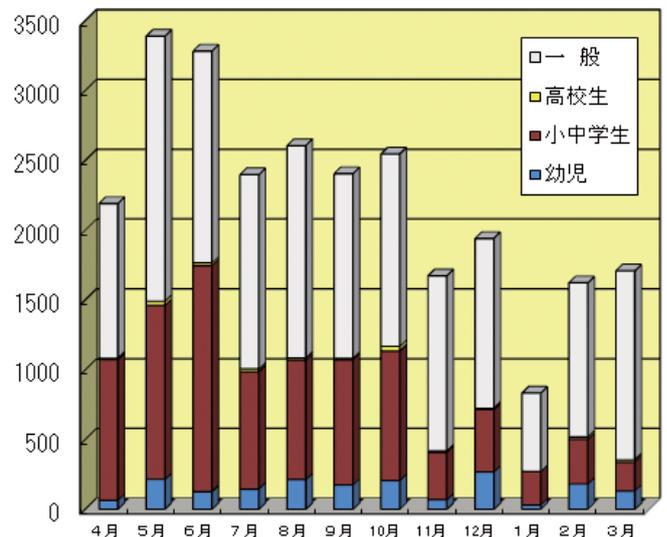
平成24年度は、県内外から2万6千人余りの方々にご来館いただきました。平成13年7月の開館以来、これまでに37万5千人以上の方々まほろんの展示を楽しんでいただきました。

東日本大震災の影響で23年度に激減した入館者数ですが、24年度には回復の兆しを見せています。特に12月の入館者数は過去最高を記録しました。

今年度も、様々なイベント、実技講座、研修会や企画展を実施する予定ですので、多くの方々のご来館をお待ちしております。

月	幼児	小中学生	高校生	一般	入館者合計
4月	65	1,008	10	1,108	2,191
5月	216	1,246	30	1,898	3,390
6月	127	1,619	20	1,517	3,283
7月	144	843	20	1,391	2,398
8月	215	854	16	1,521	2,606
9月	175	896	11	1,323	2,405
10月	206	928	35	1,377	2,546
11月	70	339	11	1,253	1,673
12月	268	447	10	1,215	1,940
1月	32	239	1	561	833
2月	182	321	16	1,104	1,623
3月	132	206	17	1,354	1,709
合計	1,832	8,946	197	15,622	26,597

月別入館者数



まほろんからのお知らせ

5月のまほろんイベント

5月3日(金)～6日(月)は、「ゴールデンウィークまほろんまつり」を開催します。

火おこしや弓矢のほか、楽しい体験メニューをご用意しています。

詳細は、まほろんホームページ等をご覧ください。



ご利用案内

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日 (月曜日が祝日・休日の場合はその翌日、ただしGW・夏休み期間中は開館)、国民の祝日の翌日 (土曜日・日曜日にあたる場合は開館)、年末年始 (12月28日～1月3日)

入館料 無料 (体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。)

その他 団体 (20名以上) でご利用の場合は、事前にご予約ください。

今年度の行事予定

1 まほろんイベント

期 日	イベント名	イ ベ ン ト 内 容	募集締切	募集人数	対 象	参加費等
5月3～6日 (金～月)	ゴールデンウィークまほろんまつり	火おこしや弓矢などの楽しい体験がもりだくさん。	—	—	どなたでも	無料
7月28日(日)	まほろん夏まつり	古代3種競技の「まほろんカップ」を開催。	—	—		
9月14～16日 (土～月)	まほろんを描こう	まほろんの敷地内で絵を描きます。	—	—		
11月4日(月)	まほろん秋まつり	秋にちなんだ楽しい体験メニューがいっぱい。	—	—		
12月1日(日)	まほろんもちつき大会	竪杵と横杵などで餅をつきます。	—	—		
1月11日(土)	第10回双六大会	昔の遊び「双六」のトーナメント戦を行います。	1月7日(火)	20名	小学生以上	無料
2月16日(日)	まほろん冬まつり	色々なコーナーで体験学習が行えます。	—	—	どなたでも	
3月15日(土)	第8回毬杖大会	昔の遊び「毬杖」を行います。	3月11日(火)	20名	小学生以上	

(小学3年生以下は保護者同伴)

2 実技講座

期 日	体 験 メ ニ ュ ー	体 験 内 容	募集締切	募集人数	対 象	材料費
5月11日(土)	土器づくり初級編Ⅰ①	基礎的な土器づくりに挑戦します。	5月8日(水)	16名	小学生以上	120円
6月8日(土)	家族でお茶わんをつくろう①	お茶わんの形をつくります。	5月31日(金)	家族10組	小学生以上	300円
6月22日(土)	土器づくり初級編Ⅰ②	5月につくった土器を野焼きします。	—	—	—	—
6月29日(土)	カラムシから布をつくろう①	カラムシを刈り取り、繊維を取り出します。	6月25日(火)	16名	中学生以上	500円
7月13日(土)	家族でお茶わんをつくろう②	お茶わんに絵付けをします。	—	—	—	—
7月20日(土)	カラムシから布をつくろう②	カラムシの繊維から糸をつむぎだします。	—	—	—	—
8月3日(土)	古代の染色にちょうせん	タデアイを用いた絹布の染色をします。	7月29日(月)	午前・午後各16名	小学生以上	1,200円
8月31日(土)	カラムシから布をつくろう③	カラムシの糸でアンギン編みの布をつくります。	—	—	—	—
9月21日(土)	鹿の角で装飾品をつくろう	鹿の角を削って装飾品をつくります。	9月16日(月)	12名	小学生以上	500円
10月5日(土)	むかしの料理をつくろう	古代の料理を再現します。	10月1日(火)	16名	小学生以上	500円
10月19日(土)	古代の竹笛をつくろう	篠竹で横笛をつくります。	10月14日(月)	16名	小学生以上	500円
11月9日(土)	土器づくり初級編Ⅱ①	土器づくりに挑戦します。	11月6日(水)	16名	小学生以上	120円
11月23日(土)	ひょうたんから容器をつくろう	ひょうたんで飾り物の容器をつくります。	11月19日(火)	20名	小学生以上	100円
12月7日(土)	古代の印章をつくろう	石に彫刻して印章をつくります。	12月3日(火)	16名	小学生以上	400円
12月14日(土)	土器づくり初級編Ⅱ②	11月につくった土器を野焼きします。	—	—	—	—
12月21日(土)	家族で門松をつくろう	お正月飾りの門松をつくります。	12月13日(金)	家族10組	小学生以上	600円
1月25日(土)	古銭をつくろう	石膏の型に金属を流して銭をつくります。	1月21日(火)	12名	小学生以上	600円
2月1日(土)	縄文土器づくり上級編①	文様や形の複雑な縄文土器をつくります(形づくり)。	1月28日(火)	10名	中学生以上	1kg120円
2月2日(日)	縄文土器づくり上級編②	〃 (文様づけ)。	—	—	—	—
2月22日(土)	ガラスと組紐でアクセサリーをつくろう	ガラスの玉と組紐をつくります。	2月18日(火)	15名	小学生以上	500円
3月8日(土)	縄文土器づくり上級編③	2月につくった縄文土器を野焼きします。	—	—	—	—

(小学3年生以下は保護者同伴)

3 まほろん森の塾(本年度の塾生を募集しております)

期 日	内 容	募集人数	対 象	参加費
5月19日(日)～ 12月14日(土)	春～秋を通して、原始・古代の衣・食・住をたのしく体験します。(6回開催)	15名	小学4年生～ 中学3年生	1,000円

4 まほろん文化財講演会(申込不要) 会場:まほろん講堂

期 日	講 演 題	募集締切	募集人数	対 象	入場料
4月27日(土)	第1回「被災文化財復興事業の取り組み」	—	60名 (先着順)	どなたでも	無料
6月8日(土)	第2回「小峰城の歴史と震災復興」				
8月24日(土)	第3回「中田横穴墓と古墳時代の馬具」				
9月14日(土)	第4回「白河地方の考古学研究」				
10月19日(土)	第5回「中世陶器の窯について」				
11月9日(土)	第6回「三春町の文化財」				
12月21日(土)	第7回「白河関と東山道」				
1月25日(土)	第8回「白河だるまについて」				

5 館長講演会(申込不要) 会場:まほろん講堂

期 日	内 容	募集人数	対 象	入場料
5月19日(日)	第1回館長講演会「北日本の縄文文化について1」	60名 (先着順)	どなたでも	無料
7月20日(土)	第2回館長講演会「北日本の縄文文化について2」			
9月21日(土)	第3回館長講演会「北日本の縄文文化について3」			
11月16日(土)	第4回館長講演会「北日本の縄文文化について4」			
1月18日(土)	第5回館長講演会「北日本の縄文文化について5」			

※事前申し込みの必要な実技講座等は、電話・ファックス・ホームページ、館内備え付けの「申し込み書」にてお申し込み下さい。